



なかしま いちろう 議員  
中島 一郎 議員

## 水産業振興

# 漁業権制度の見直しは 漁協・漁業者との協議対応

**問** 漁業再生のため、約70年ぶりに漁業権制度等の見直しがされた。漁場利用をしていない漁場では、地域内外から新規参入を含めた利用が可能となったが、この対策はとられているか。

また、高知県は上ノ加江・矢井賀・興津沖の3カ所での企業参入等による定置網漁の再開を呼びかけているが、鈴・灘・伊田地区定置網漁への影響はないか。

### 答 今西 海洋森林課長

水産庁と高知県では7月の施行に向けた準備が行われているが、県の所管業務であることから漁業権の免許、特に地域内外からの参入については、町内の漁業者が安心して漁業が営めるように、高知県・高知県漁協・関係漁業者に働きかけ支援がないように努める。

町内の定置網事業は、地域の水産業の活性化と雇用を含め地域貢献に寄与しているが、これまで海域での漁獲物のデータがないことから、影響の範囲は全く解らないのが現状である。

今後は高知県漁協・各定置網組合と情報共有を図りながら対応策に取り組む。

## 国際貢献

### 外国人技能 実習生の対策は 主体性持つて 取り組む

**問** 当町は、長年にわたり外国人技能実習生を受け入れ、現在148人が滞

在し、産業界への貢献度は年々増している。4月から施行の外国人労働者の受け入れ拡大改正法によると、在留期間延長による技能実習生から労働者への移行も可能となったが、課題もある。事業者や技能実習生に寄り添うために総合的窓

口を設置して、主体性のある支援はできないか。

### 答 今西 海洋森林課長

今後、技能実習期間を良好に終了した者は、条件や基準はあるが、特定技能生への移行が可能となり、在留期間も通算5年まで認められる。

これからは情報を正確に把握するために、新設された高知県外国人相談センターとの連携や機能の強化を図り、この制度について関係職員間で学習会を重ねることで、総合的に役割分担を組織内で議論していきたい。

## 観光基本構想

### 公設宿泊施設の 計画は

白紙にし 予算  
再計上しない

**問** 黒潮町観光基本構想が約500万円の委託費で製作され、幅広い分析がされている。

要約すると、スポーツ・ツーリズムなどで大幅に増加した宿泊者が近隣市町村に流出していることへの対応として、公設の宿泊施設を建設し、更なる誘致を促進して地域経済の活性化に結び付ける計画となっていた。

### 答 大西 町長

新宿泊施設の予算計上を含めた一連の流れについては、拙速な点があり大いに反省すべきところである。そのためこの計画は白紙にし、再度の予算計上はしない。

しかし、町内の旅館業等を営む方に十分な説明ができておらず、理解を得ることが出来なかった。このために令和元年度当初の予算が削除されたが、その後の動きは。

【その他の質問】  
・業務執行のあり方について



ブリ大漁 鈴共同大敷組合